

2011 賀川記念館 since 1909

KAGAWA MEMORIAL HALL

総合研究所 《講座》《研修》《研究》 公開プログラム

リーダーシップ養成

東日本大震災をどのように受け止めたらいいのでしょうか。また、地域にどのように向き合うことができるのでしょうか。

私たちに与えられたさまざまな課題を学ぶプログラムを用意いたしました。ともに学び、ともに語り合い、ともに生きるために、賀川記念館と一緒に歩みませんか？

暮らしと火水木風土



現代社会とキリスト教

地域とつながる

賀川と差別

地味で楽しい小水力 発電所を設置しよう

エネルギー消費者から生産者へ
福島の原子力発電所事故から何を学ぶのか
私たちにできることから始めたい

賀川記念館総合研究所が主催する循環セミナーは、第1回：絵本で学ぶ「海と空の水まわり」、第2回：漁が語る海の実情「瀬戸内からの警告」、第3回：神戸の暮らしと「六甲山の森林保全」と開催してきました。第4回は小水力、地熱、太陽光、風、など自然エネルギーがテーマです。暮らしを取り巻く自然循環とともに生きていくために必要な事柄を学んできましたが、いよいよ市民自らがつくりだす地域エネルギーの可能性を探ります。

1/29

日時：2012年 1月 29日(日) 15:00～17:00

参加費：500円 参加お申し込みは賀川記念館事務局まで

会場：賀川記念館 4F メモリアルホール

神戸市中央区吾妻通 5-2-20

事務局：電話：078-221-3627

E-mail：office@core100.net

講師 古谷桂信 環境フォトジャーナリスト



1965年、高知県生まれ。
関西学院大学社会学部で鳥越皓之教授のゼミに入る。海外ではグアテマラのマヤ民族、国内では水環境などをテーマに活動。
高知小水力利用推進協議会事務局長、全国小水力利用推進協議会理事。
主な著書に『生活環境主義でいこう！』（共著／岩波書店 2008）、『どうしてもダムなんですか？』（岩波書店 2009）、『地域の力で自然エネルギー！』（岩波書店 2010）ほか

井戸兵庫県知事が、地熱エネルギーを利用した発電事業を行うため、来年度から新温泉町の湯村温泉で調査を始める考えを発表しました。自治体が自然エネルギーを地産しようとする動きは方々で始まっています。

また、2012年の国際協同組合年に宣言する協同組合憲章が準備されていますが、その中に、「再生可能な自然資源を活用した協同組合による分散型エネルギー供給事業の創設等を支援する」の一文が盛り込まれました。市民による市民のためのエネルギーの生産と利用を協同組合として進めることを支えよう、ということです。

分散型自然エネルギーの中でも小水力は、日本という風土に長らく蓄積してきた利用技術で、かつ、ポテンシャルの高い存在です。徳島や高知、九州の宮崎でも、既に市民が動きだし自らエネルギーを生み出そうとしています。各地の取り組みに実際に関わっていらっしゃる方々からの報告を交えて、本プログラムは私たちの地域の可能性を模索します。そのリードを講師の古谷桂信さんにさせていただきます。

エネルギーを消費するだけではなく、生産もする存在へと、私たちのライフスタイルを見つめなおす企画でもあります。ぜひ、お集まりください。